



東陽病院 鈴木健士 医師

健康への

メッセージ

シリーズ 38

肺ガンの話

男性の死亡率トップ 禁煙はガン予防に 効果大

光町のみなさんこんにちは。今回は喫煙者の恐ろしい、肺ガンについてお話ししたいと思います。

肺ガンは最近増加しているガンのひとつで、現在日本で二番目に多いガンと言われています。特に男性ではガンによる死亡数は、胃ガンを抜いてトップとなつてしまいました。肺ガンは今後まだしばらくは増加してゆくと思われれます。

肺ガンの症状としては、咳、痰（特に血痰）呼吸困難、胸痛、声がれなどがあります。しかし血痰や胸痛ならまだしも、咳、痰などは普通の風邪と見分けがつかず、数ヶ月経ってからようやく医療機関を受診するという方もいるようです。

肺ガンの早期発見のためにレントゲン検査による検診がひろく行われています。これによりある程度の大きさの影があれば発見出来るわけですが、小さな病変は発見が難しい場合も多いのです。また、レントゲン検査の宿命として、心臓や骨と重なるとなると、重要な部分が死角になり、見つからない可能性があります。この死角は、肺全体の三割を占めるという報告もある程度です。肺ガンの早期発見への道はなかなか険しいといえるでしょう。

肺ガンが発見された場合、今後は治療となるわけですが、病変の進行度と共に治療法を決定する際に重要なのは肺ガンのタイプです。抗癌剤や放射線治療が効きやすいタイプと、反応の乏しいタイプがあり、それにより治療法を選択するわけです。早期の病変には可能であれば原則的には手術による切除を行うのですが、ガンのタイプによっては比較的早期でも、抗癌剤または放射線療法を施行することもあります。肺ガンの手術は、胃腸の手術に比べて開胸手術であり心臓、呼吸の管理がより難しく、術後の合併症も起こりやすく、体により負担が大きい手術です。最近では、胸腔鏡という細いカメラとマジックハンドのようなものを用いた小さな切開で行う手術も始まっているようですが、全てがそれで行えるわけではなく、まだまだ発展途上の段階といえるでしょう。それぞれの治療成績もまだ満足のいくものとは言えません。



このように治療はなかなか難しい肺ガンですが、少しでもその危険を減らすとしたら最も簡単な方法はやはり煙草を吸わないことでしょう。煙草を吸わなければ肺ガンにならないわけではありませんが、吸っている人の方がなりやすいこともまた事実です。現に喫煙率が低下した欧米諸国では、肺ガン死亡率がわずかながら低下しているというデータもあります。まず身近なところから、この難しい病気を避ける努力を始めてみてはいかがでしょう。

集めたごみ6.5ト

環境美化運動

早朝からみなさんのご協力をいただいて12月8日(日)に行われた環境美化運動では、町内全域で6.5トンのごみが集められました。拾うことより、捨てない、捨てさせない運動を展開し、美しい光町を守っていききたいと思えます。



リサイクルの日

11/10リサイクルの結果

ご協力ありがとうございました。

期日	1月12日(日)
受付時間	午前8時～9時
回収品目(6品目)	空き缶
	古新聞・古雑誌・古着・牛乳パック・ダンボール
回収場所	各集会施設
※小雨は行います。なお中止の時は、防災行政無線でお知らせします。	
計	20,480 kg
	(スチール) 3,200 kg
	空き缶(アルミ) 4,000 kg
	ダンボール 5,600 kg
	古着 1,320 kg
	古雑誌 4,800 kg
	古新聞 10,200 kg

1/12(第2日曜日)は ごみの直接搬入日

八日市場市ほか三町環境衛生組合では、毎月第2日曜日を開庁し、粗大ごみと一般ごみの直接搬入受け入れを行っています。

受付時間

☆午前8時30分から12時
☆午後1時から4時30分

料金 100kg毎 400円

問合せ 八日市場市ほか三町環境衛生組合

☎3036

9年度県生涯大学校
学生募集

・県内に在住の60歳以上で、社会参加の意欲のある人

・受付期間 1月8日～2月3日 問合せ 千葉県生涯大学校 ☎043-266-4705